
真珠色の残像
by clone人間
今日は遅くなるからお父さんお願いね
瞳(ひとみ)
同窓会だっけお母さん
……ええ
N.P HOTEL
校同窓会
受付
ええ！唐沢(からさわ)君？
ひさしぶり～

★良妻賢母であり、清純可憐な義母・百子さんが淫らに開花した
MSC「真珠色の残像 家族が寝静まった後で」を要チェック!!

Check!!
著者掲載
バックナンバー
&単行本情報は
こちらから♥

# 雌母再臨!!

めすぼさいりん

義母 百子（ももこ）

Presented by
clone人間（クローンニンゲン）

## 真珠色の残像

第二幕 ～青い月夜の女～ 第1話

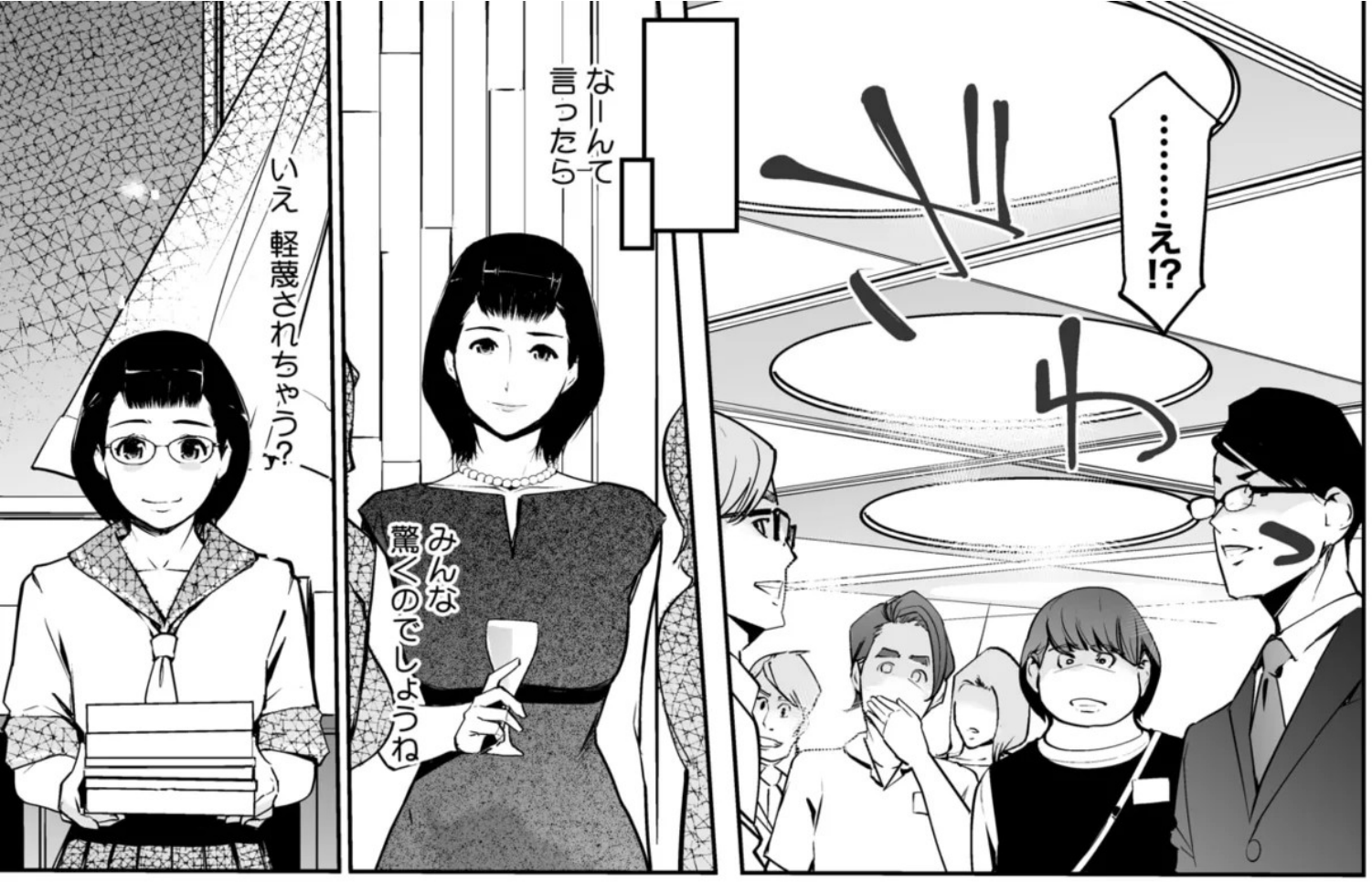






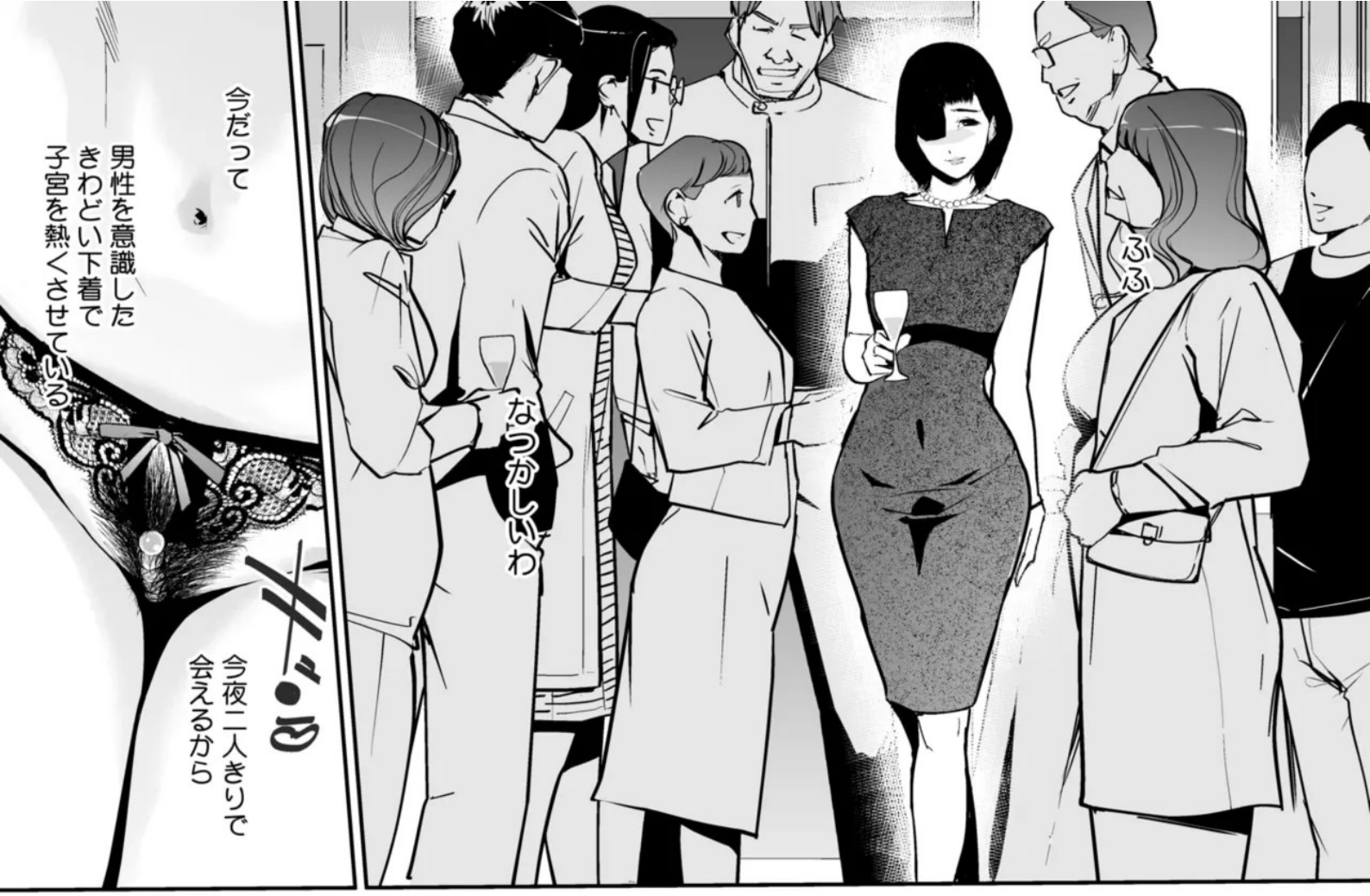
百子
若いわ
ほんと
綺麗ね
いいわよ
百子
あか抜けた
わねね
男いるん
でしょ
百子
え…まさか
えー だって
あんな
クソジジィの
大学教授
ふふふ…
ひどいわ
みんな
…♡
そんな
わたし綺麗…？
ていうか みんな……


…老けたわね
「今夜ですが」
13:23
祐介
今夜です
祐介さんから
LINE…っ
そっか…そうよね…
…20代の健康的な
男性に先週だって
わたし朝まで……
ねえ聞いて
みんな
わたしねぇ
娘の夫と
寝てるの


……え!?
なーんて
言ったら
みんな
驚くのでしょうね
いえ 軽蔑されちゃう?






ふふ
なつかしいわ
今だって
男性を意識した
きわどい下着で
子宮を熱くさせている
今夜二人きりで
会えるから


おま○こするの
朝まで彼と♥




ももこ！
えっ…万由子(まゆこ)!?
懐かしい!!
万由子!!
百子!!
ひさしぶり～！
あ 百子のスマホ鳴ってる
祐介
ハメ狂わせたい
介
きれない百子さん
祐介
ハメ狂わ
「ハメ狂わせたい」
「待ちきれない百子さん」
ほんとかっ
ダダダダ
ダダダダ
まゆちゃんさーっ
あの時もそうだったらすぐ

え……

確か祐介さんて
義理の息子さん…

百子
今度ゆっくり
お茶しよう

連絡先
教えて

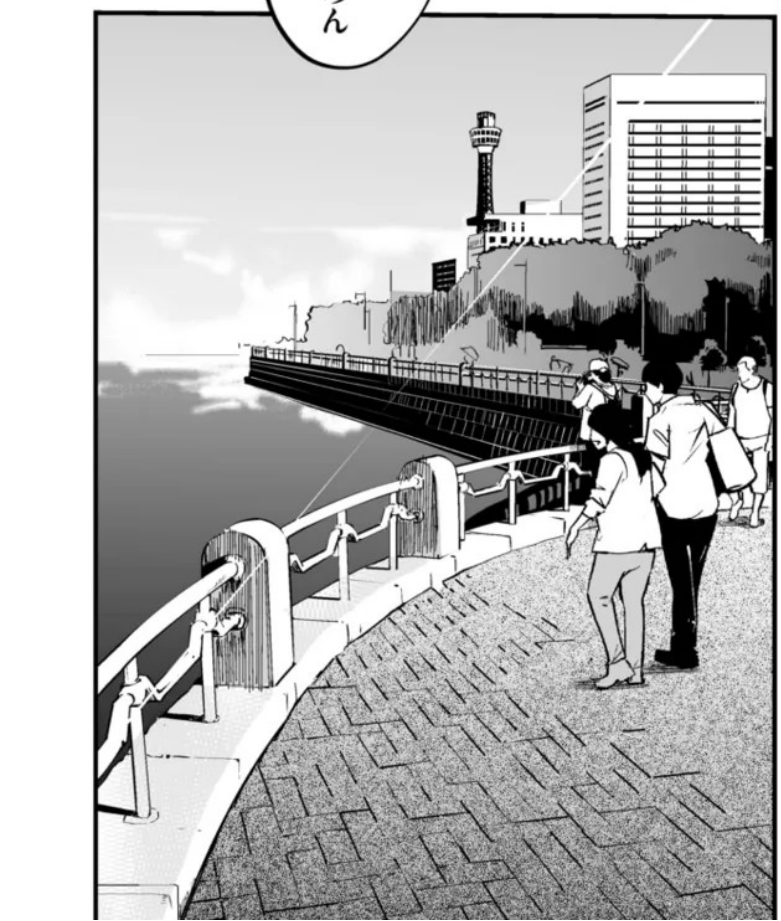
あ…
うん もちろん

ごめん わたし
行かないと

万由子
連絡してね

ええ するわ
絶対♥

ぷーん♡




祐介さーん
おーい
義息子 祐介
へへ♡
どうしたんですか
同窓会楽しかったんですね
うん
わたし…とってももてたわ
え？
よかったじゃないですか
ふふふ
ニコニコ
ギュっ♡


おお♥
めちゃ
可愛いです
百子さん
こんな短いの…
今日のワンピース
だって少し短い
かなって思ったのに
kiss♡
……んっ
ん…ん♥
店員さんが
見てます…っ
コレ
戴きます
た…ただいま
お包み致し
ますっ
いえ
このままで♥


祐介さんだけでいい
恐いくらい本当
ホテルへ行きましょ…
ちょ…人が祐介さん!?
待ちきれない♥
あ…ん♥
昨日からもう百子さんのことばかり考えて…
み…みつかります祐介さん…っ
ここのカップルは自分達の世界で外野なんて興味ないですよ
……っ
スケベな下着ですね僕のため?
どきどきしますね
あ…や…お…怒られちゃう
ああねえ百子は今何も…


心臓がはりさけそう…
すぐ隣には
声がきこえる距離に
若いカップルが…
や


すごく興奮
する…♥
百子を…解ってる
祐介さん…貴方は凄い人


気がどうか
なりそう…っ


全裸ですよ♥
は
ぐぐ…
ぐぐぐ…


あ…わたし
一番綺麗
だったわ
…あそこに
いた女の中で
いちばん
わたしが…♥
間違い
ないです
ああいい
……弄(いじ)って…ん
いい♥
すりすり
ぐにゅ
ぐにゅ
ざわざわ
は…っ
んっっ
すぐそばを…
人が……歩いてる
それでも…
ん…っ
ん…ああ♥


は……ああ
それいい♥
乳首だけで
気をやるん
ですか♥
あ…だって
だ…だめ…で…
出ちゃう♥
は…っ
あ……あ♥
んん…っ♥
何あれ
こんなところで
ヤバくない？
ほんと
ありえねえ
…ひ!?
花火とか…
非常識なっ
ここでやって
いいのかよ
足を開いて
いくう…っ♥
んん…ん…んんん…っ
ひく…ひぐう……♥


ん♥
や…はあああん…っ♥
ふうう…ん♥
世界でいちばんかもしれませんよ
HOTEL


ああ…ああっ
あああう♥
あああ…あっ
あう♥
んん…んんんんっ♥
ま…またいく…
いっっくううう♥
んん…っ♥
んん…っ♥
スケベな
下着つけて
娘の夫に
肉漬けされて
ああ♥
ああ…
祐介さん♥
あああう♥


お義母さんっ
それでも足らない
あっ
祐介さんといる時の自分が…恐くなる
あうっ♥
はあああいい♥
もう以前のわたしではないの…♥
ん♥
あ♥




娘より若い男に何度も何度も
無理やり固いもので気をやらされたことある？
みずみずしい肉体
野生的な性交渉
幾度も求められ濃厚な愛をぶつけられたこと…あるの？
咽せるような本物の背徳を喉を鳴らして
飲み干したことあるのかしら？


ぷるるるるるる
携帯電話
瞳
ぷるるるるるる
瞳…っ
出てください
気になります
そ…
どうして
あの娘
留守番電話
応答
も…もしもし
あ お母さん
楽しんでる？
あはあ…♥
き…気持ちいい♥
わたしは違うわ
きっと旦那様にも
触れさせない
箱入りのつもり…？
愛でられてこその
真珠なのに
——ありそうもないわね
そこいいっ
素敵い…♥
あああう♥♥
わたしは違うの♥


瞳…た…
楽しんでるわ
今夜って
何時くらいに
帰ってくるの？
こ…今夜はだから
遅くなるって
いったじゃ
…んんんんつ♥
は……ん♥
私 明日早いから
先に寝ちゃうよ
お風呂沸かし
とくけど
ん…んそうね…
ありが……っっ
少しお友達と
もりあがって…
ん…だから先に
休んでて…あっ
何？
大丈夫
お母さん
…なんの音？
ぱんぱんて…？
なにが…？っ
何もないわ…
シャンパンでしょ…
あ……ん…あ♥
うん わかった
あんまり飲み過ぎ
ないでね


あ…うん
…あ…♥
気をつけて
帰ってきてね
もうきって……っ
くぅ…っく
……んくぅう♥♥
ああ…おち○ぽ
どばどばぁ♥
祐介の
しゃんぱん
飲ませてぇ♥
うう…男根好きの
スケベ義母の…
クッソ卑しい
穴たまらないっ♥
あぁん♥♥
百子…っ！
射精が始まる
いっ…くぅうっ♥♥


ゆ…祐介さん…
が…我慢できないの
卑しい雌犬へと
百子さ…♥
豹変させる
女を――
理性が瓦解した
下半身から
欲望そのものが
濁流となって
女の聖域に溢れ出る
漏れ出る雄の
うめき声と
肉の残像が
うほおお♥
た…たまらない
お義母さんの
おま○こ…っ♥
ほおおお♥
百子の最奥で
お○ぽが弾け続ける…♥


も…百子は…
あの日以来…
こ…肛門…
ぽるちおアクメの
虜です…♥
百子のけ……
ケツ穴を……
ぬぽっ
太くて長い祐介さんの
おち○ぽでかわいがって
ください……っ♥
百子…っ
あ……あ♥


あ…あぁっ♥
んん…っ♥♥
百子…っ
あ♥
は…あ♥
ぞわ
う……お
締まる♥
んんん…♥
ああうそ
すっごい♥
圧倒的な雄の存在に
肉芯が痺れ……
…すごい♥
あ…ああ
そこぉ♥♥
脳が
じとどに濡れる…♥
はあぁ♥
き…きて…♥


きゃうう♥
あぁ…っ
あぁ…っきゃうっ♥
あ…♥あっ♥
あ…♥♥あっあぅ♥
ほ……おお……おお♥
きゃあっ♥


はっあああ♥
いい…♥
気持ちいい…っ♥
あはああ…♥
…気持ちいい♥
いい…お尻がいい♥
気持ちいいの…♥
…いい…っ
とっても
すごいのお♥
お尻が
気持ちいいのっ♥
…あむう♥
はっ…ああ♥
あはぁ♥
すっごい…
ぶつかるわ♥
露天風呂で初めて
貴女を
覚えてから…っ
僕は
この雌肛門の
虜ですっ♥
ぱっ
ぱっ
ほぉおおん♥♥
ほぉおおん…っ♥♥
ゆ…祐介さん
百子も…っ♥
ああ♥
ああ…っ♥
ああすごい…
子宮が揺れる…っ
ひいい♥
そこぉ…はあ♥


ああ…ああ…ああ…
あああくる…くるわ
くううううう…♥
いっくううう♥
おしりの穴で
いくいくううう…♥
んんん…ん♥
言葉になり
ませんか♥
きゃ…は……あ♥
は……は…♥
あ……あ…ん♥
あ…あ♥
美熟女の脂の
のった分厚い臀部をして
直腸越しに子宮口まで
悠然と犯す男性器は
ポルチオはもちろん
百子の雌心すら
鋭く射抜き


戸惑いすら許さない
だ…あぁ♥
ぽ……ぽるちおがやばいのぉくる…はあああきちゃううっ♥♥
ああ…ああまた…っ許して…いっくううう♥
お…おお……ほおおふううううう♥♥♥
んん…っ♥♥
…ジンジンするどうにかして…♥
ぽおおおおお…んっ♥♥
百子のケツ穴がじんじんするう♥


連続肛門オーガズムか百子！
卑しい穴がまた締まりだしたっ
いく…ケツ穴でいくううう♥♥
あひぃぃ♥
ん…っ♥
っっぐうううう♥
ひっぐうう♥♥
しまる…うう♥
あぁっ
んんっ♥


ひ…ひい♥
あ…祐介さん先から溢れてる…っ
おちんぽ跳ねてる…っ♥
百子の肛門がしゃぶりつくからだろう…っおら射してやるっ
卑しい百子に…♥
ああ嬉しい…っください…っ♥

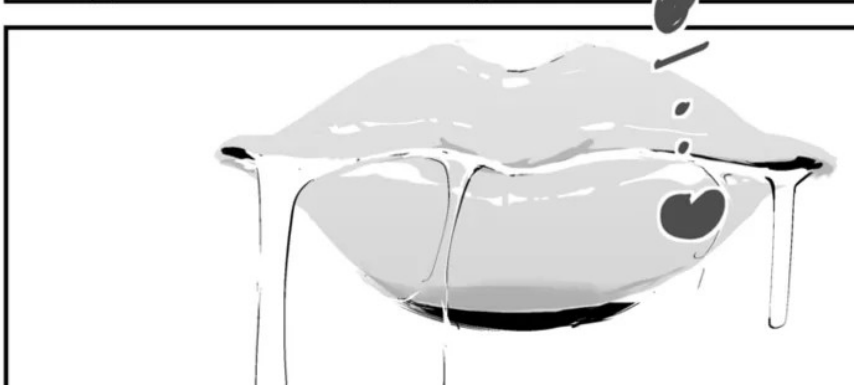

お……義母さ…
射で……くうう♥
は……ああああ…素敵♥
きゃはっ…ああ…あぁ
射精……されてるうっ♥
百子の肛門に……
ん…ん♥
おま○こに……
ギュブル
ブぐブル
ううお義母さ…♥

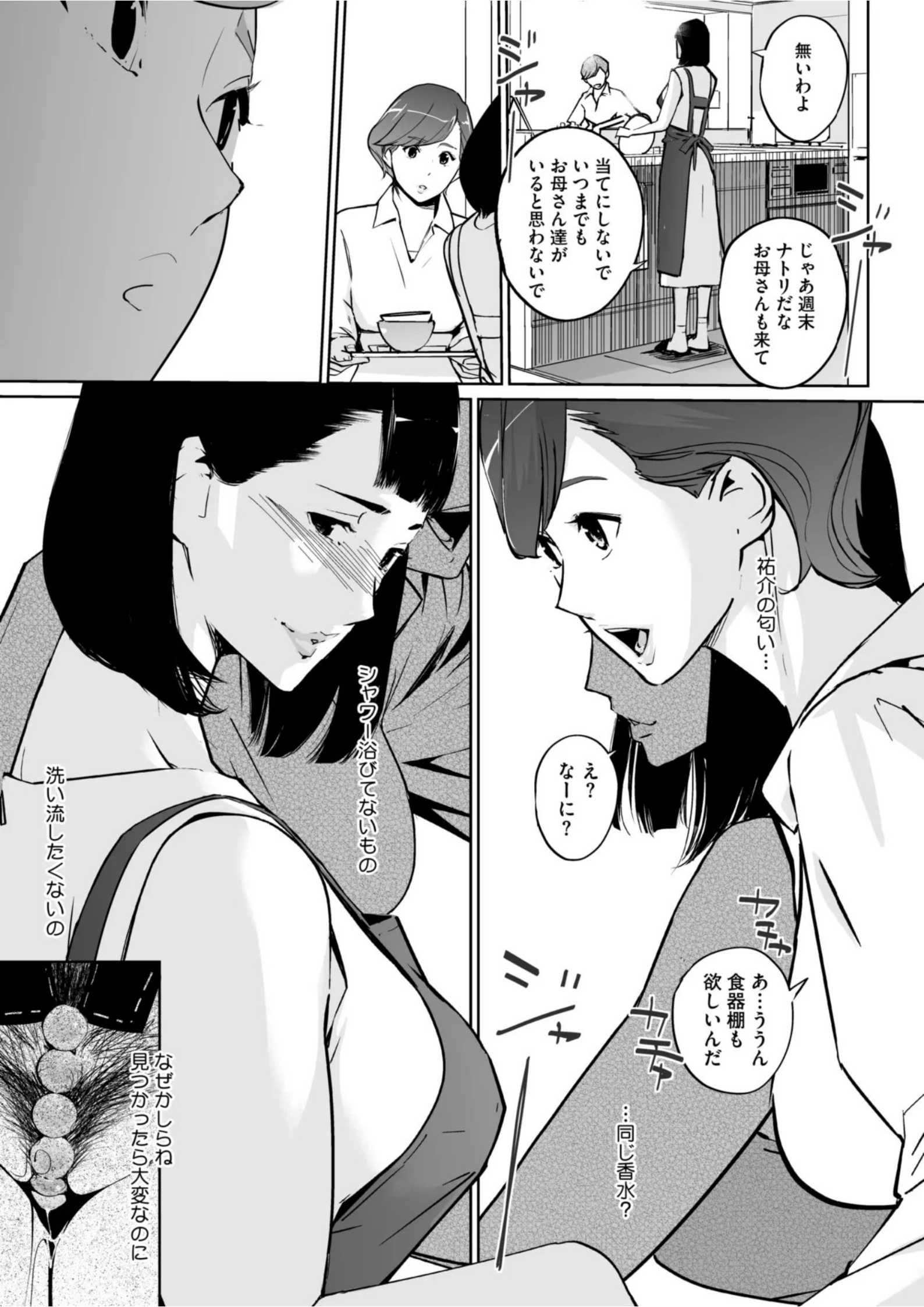


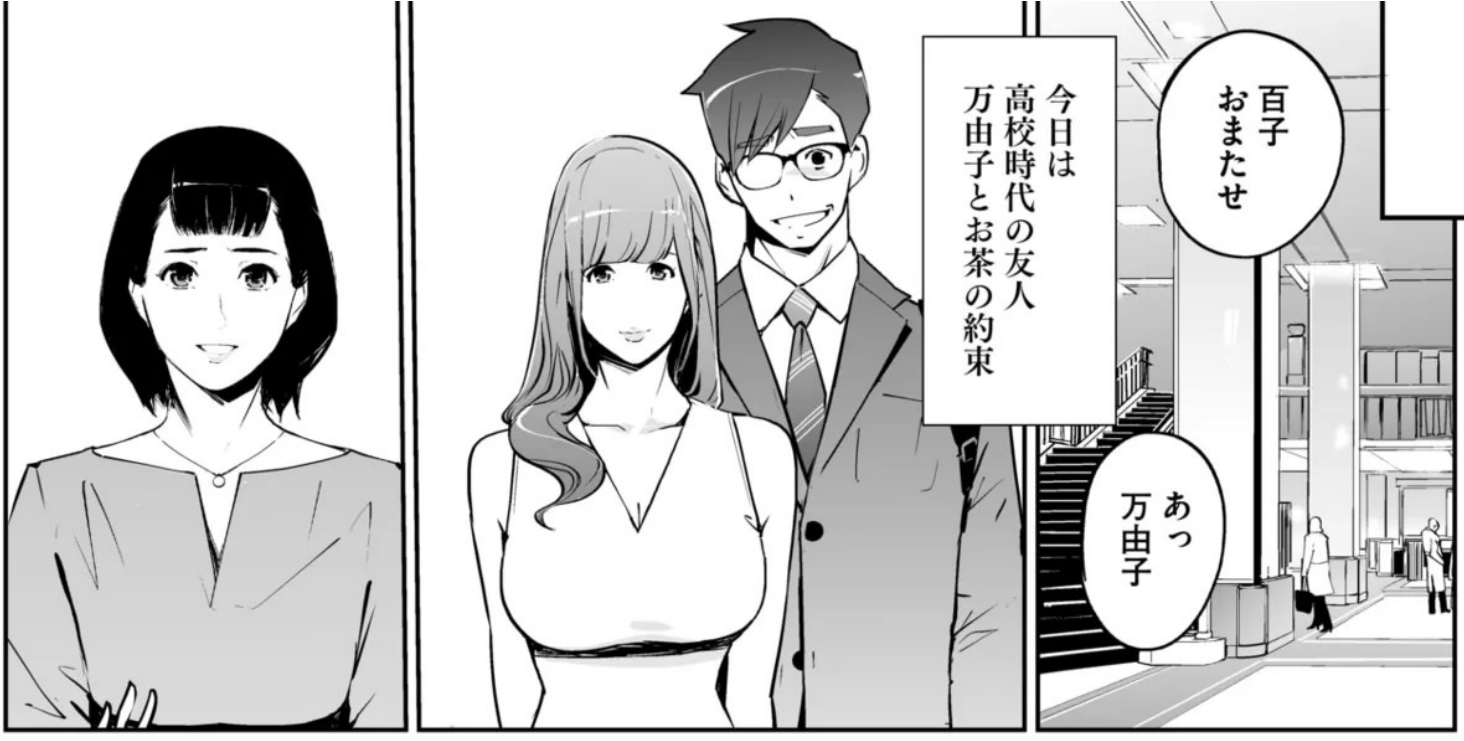

ねえママ
いらないフライパンと
鍋ある？


あと
しゃもじ


ん♥
ん♥
…うう 残ってるのも
吸い出して…うう
たまらない百子さん…♥
百子に全部注いでほしい……♥♥
ん♥ん…♥
百子にだけ…全部頂戴……♥




無いわよ
当てにしないで
いつまでも
お母さん達が
いると思わないで
じゃあ週末
ナトリだな
お母さんも来て
祐介の匂い…
え？
なーに？
あ…ううん
食器棚も
欲しいんだ
…同じ香水？
シャワー浴びてないもの
洗い流したくないの
なぜかしらね
見つかったら大変なのに










真珠色の残像 to be continued

万由子と悦司に戸惑う百子――。



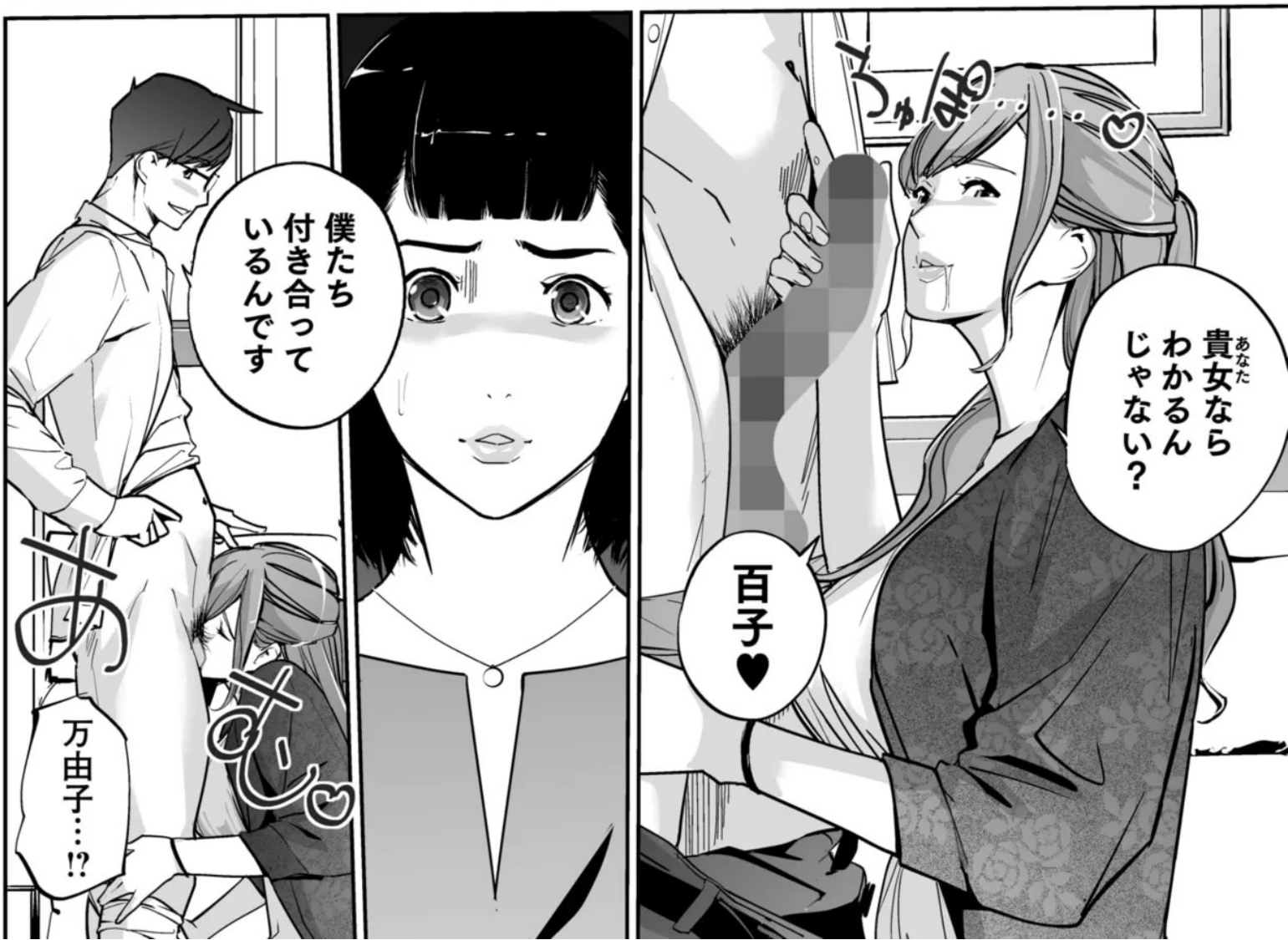

同窓会で再会した万由子と二人だけのお茶会だったはずが――。


真珠色の残像
第2話
第二幕
～青い月夜の女～
義息子の悦史を同行させる
万由子の真意がわからず
戸惑う百子……。
Presented by
clone人間
クローンニンゲン
Check!!
著者掲載
バックナンバー
＆単行本情報は
こちらから♥
★良妻賢母であり、清純可憐な
義母・百子さんが淫らに開花した
MSC「真珠色の残像家族が寝静まった後で」
を要チェック!!
ゴゥン


先日の同窓会で
再会した学生時代の
親友 万由子と
今日は
お茶の約束で
ここのホテルに
訪れたのだけれど…
……
ゴゥン
万由子……？
ゴゥン


高そうなお部屋ね…
てっきりどこかのカフェでお茶をするのかなってわたし……
ちゅぱ♡
ちゅぱ
ちゅぱ
思ったんだけど……ね


…!?
ちょ…っえ!?
万由ちゃ……
なにをして
クチュ
キッ


僕たち
付き合って
いるんです
あ…
万由子…!?
貴女(あなた)なら
わかるん
じゃない?
百子♥


ちゅぽ
チロ
レロ
チロ
レロ
レロ
あむっ
うう…
ぴく
ぴくっ
や…やめて…っ
見たくないわ
ヘタリ
祐介(ゆうすけ)さんだっけ？
義息子さん
じゃなかった
百子の恋人
ジジジ
祐介さんの
くわえまくって
るんでしょ♥
是非今度
紹介して
ください
百子さん
ゴポ
んんっ♥
ゴポ


だ……
誰から…
どうして
そんなこと
万由子…!?
ふふふ♥
いいじゃない
そんなこと
なんとなくね♥
わかっちゃうの
同じ穴の
ムジナよ♥
そんな
ことより…♥
うそ……
私たちが
愛し合うところ
そこで見てて♥


は…ああきて…
奥までぇ…♥
や……
ぐぐぐ
あ…♥♥
押し入って
くる…♥
ん…ん♥
あ…あ…
あああ♥
今日すごい…♥
あ
ほ
ほ
ん
グリ
グリ
う……うそでしょ…!?
中やばい
ですよ♥
ご友人の
前で興奮して
いますね
お義母(かあ)さん
だって…ん
今日のために
ずっと私……♥
はああ
固いわ…♥
あ…っ
ああう♥


あ…あう…っ
あ…あああん♥
あうっ…っん♥
ああう…っ
あ…あん♥
引き抜かれる度に
溢れつたう
ん…っ
女性の白く濁った体液
あ♥
近親で…
義息子の悦史さんと
性行為を
避妊もしないで
万由子が
義息子さんと
関係を
持っていたなんて
あ♥
ん♥
僕たち
愛し合って
いるんです
百子さん
わかるでしょ
百子なら…ん♥
わたしと祐介さんのように…!?
…わからないわ


ふふふ♥
百子らしい
わね
いいわ
きいて
私ね
赤ちゃん
できたの
悦史と
私の赤ちゃん
私 産むわよ
……は!?


めぐり…
やーねえ
そんな顔して
だぁって
欲しかったんですもの♥
愛している人の子を宿したいのは女の受胎本能でしょう
それとも百子は求められたことないの
祐介さんに
あ…あるわけ…ないじゃない
義理の息子よ…っ
おや？
それはおかしいですね
何を考えて…
万由子取り返しがつかない…っ
男性は必ず自分の子供を産んでほしいと思うものです
はあん♥
愛している女性には
はあ…あっ
今日の悦史凄い♥
んっ♥


あん♥
お義母さんの中
いつもより動いて
感じているのが
解ります♥
いいですよ
欲しくて欲しくて
たまらないん
ですね♥
僕に孕まされたとこ
ご友人に見られて
興奮していますね♥♥
あ♥
溢れる程
あげますよ♥
はああ…嬉しい…♥
妊娠してから
ここのところ
ずっとおあずけ
させておいたんです
今日は中出し
してもらえるのが
嬉しくて
朝から発情して
いるんですよ♥
おま○こ好きの
僕の義母は♥
あ…ああ
あっはああう♥


たまらない肉
しているんです
んひい♥
ああう♥
ひだの
ひとつひとつまで
知性的で
はしたない♥
淑女は最高です♥
ま…万由子…っ
だめよ…っ
この男は…
貴女(あなた)のからだ目当て…
それ…
自分にも
言える？
……ど…
どういう意味？
ふふふ♥
そのままの
意味よ
それでも
私はいいの
でもね
だって興奮は本物
精液だって
本物ですもの
悦史さんのような
若くて働き盛りの
男性が
年増のオワコンの
義母に欲情して
興奮のあまり
射精に至るなんて…


本気だって
何度も言ってるのに
万由子さんは…っ
妻なんかより…
僕はお義母さん
がっ
それが邪な想いで
あってもいい
私 欲張らないわ
とっても
幸せな事が
起きてるのよ
私たちにとって
悦史い…
う…嬉しいわ
こんなに固く
してくれる
なんて♥
百子…ちゃんと
見てて
私の中に悦史の
あれが注がれる
とこ…っ
ウソ偽りない
ない真実
求められた証拠…
あああう大きく……
あはあ中で
大きく跳ねたわ…っ
万由ちゃ……
いくよ…
お義母さん
ううううっ


悦史は一度
大きく
跳ねてから…
やだ…やめて
ドバドバ溢れる
方なの…っ
いく…いくうう…
あああうきて……♥
ひいいいいい♥
あ…あああっあ♥♥


ううっ…
万由子さんっ
あ…は
凄い……量♥
は…ああ♥
出て……ううぐ♥
それから
この親子は
わたしの存在など忘れたように
たがを外して何度も行為を交わした
奥に…当たるの
あっあは♥
百ちゃん…っ
悦史のすごいの
…ああん♥
ひいいい♥
いく…
いくいく
いくうう…♥
何度目の
アクメ…っ


ちょ…
悦史さ……っ
ほら
開かないか…っ
あ…いや…
いやいや…っ
お尻はまって
ん…んうう♥
それは
だめ…っ
お義母
さん…っ♥
百子は
見ちゃ駄目…っ
は……
あああああ♥♥
…はっ
悦史さ…!?っ
や…っ
やっ
はあぁあああ♥♥
んひぃいいい♥♥


あひ…っ♥
大きく広がった
お尻が…
収縮する…うう…♥
どんだけおち○ぽ
好きなんですか
貴女(あなた)はっ
あ…はあ…♥
百子の前
なのに……♥
おおおお…っ♥
……
万由子さん…っ
たまらない
ケツ穴♥
あぁ♥


肛門で……
義息子さんを銜えてる……♥
あひいい♥
き…気持ちよさそう万由子
なんて はしたない音立てるの
貴女の…肛門は
んああ♥
ああ♥
なんて…卑猥な
こんなもの見せつけられたら…私…んっ
ん…♥
ん…っ
ふぅ。
ふぅ。
祐介ぇ♥
祐介ぇいいわ
もっと
押し込んでぇ♥
思い出してしまうわ…
お義母さんの
肛門…ヤバいですっ

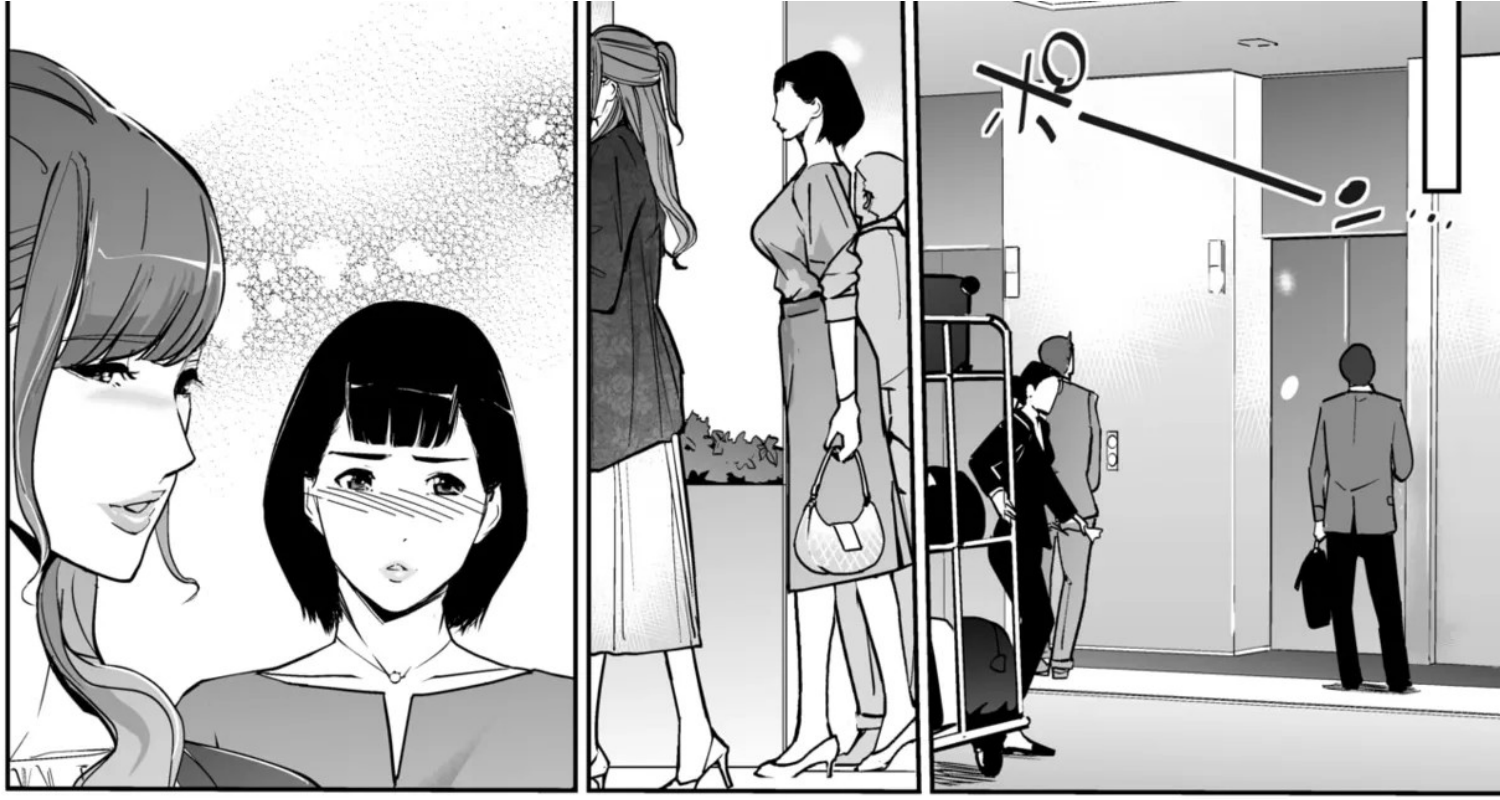

ご覧になっていますか百子さん♥義母と息子の肛門性交♥
恥ずかしがらずにご覧になってくださいほら♥おま○こから空気が漏れていますよ♥
卑猥な形に広がってる…
女性のお尻の穴なのに…
ぐっ♥
百子さんいかがですか♥
あぁっ♥
見てください♥
いやです…っ
あぁん♥
百子さん身体震わせてかわいい♥♥

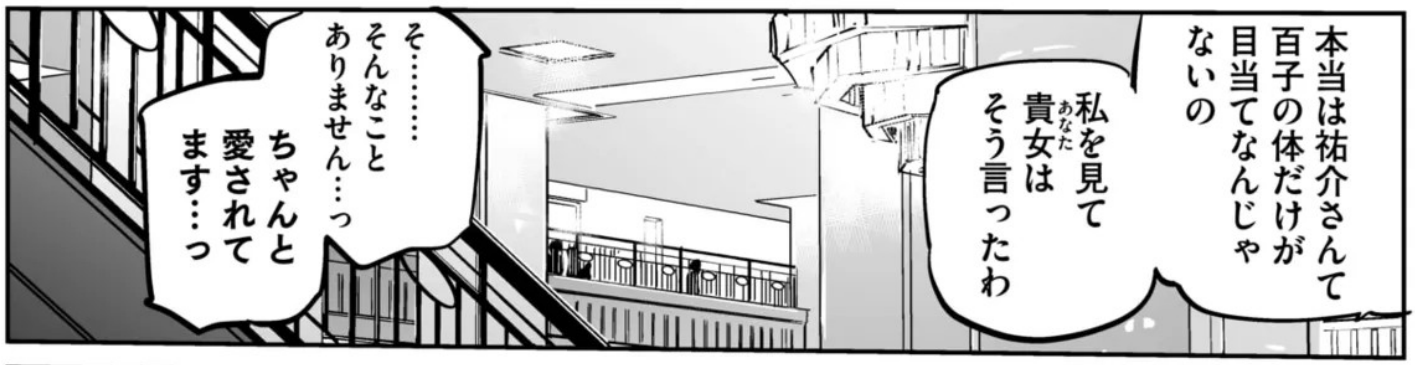

悦史さん
凄いのよ…♥
届くの子宮まで…
わかるう？
お尻の穴から
届いちゃうの…
はあ すっごいい…♥
はああ
きそうよ♥
きっとすごいの
くるわ♥
ぼ……ぼるちお…
ふーん♥
ご存知でしたか♥
流石は
万由子さんの
ご学友♥
是非一度
義母と
肛門スワッピング
しましょうよ♥
ああ…♥
ああん…♥
祐介さんに
開発されて
いましたか
百子さんも♥
しませんし…
知りませんっ

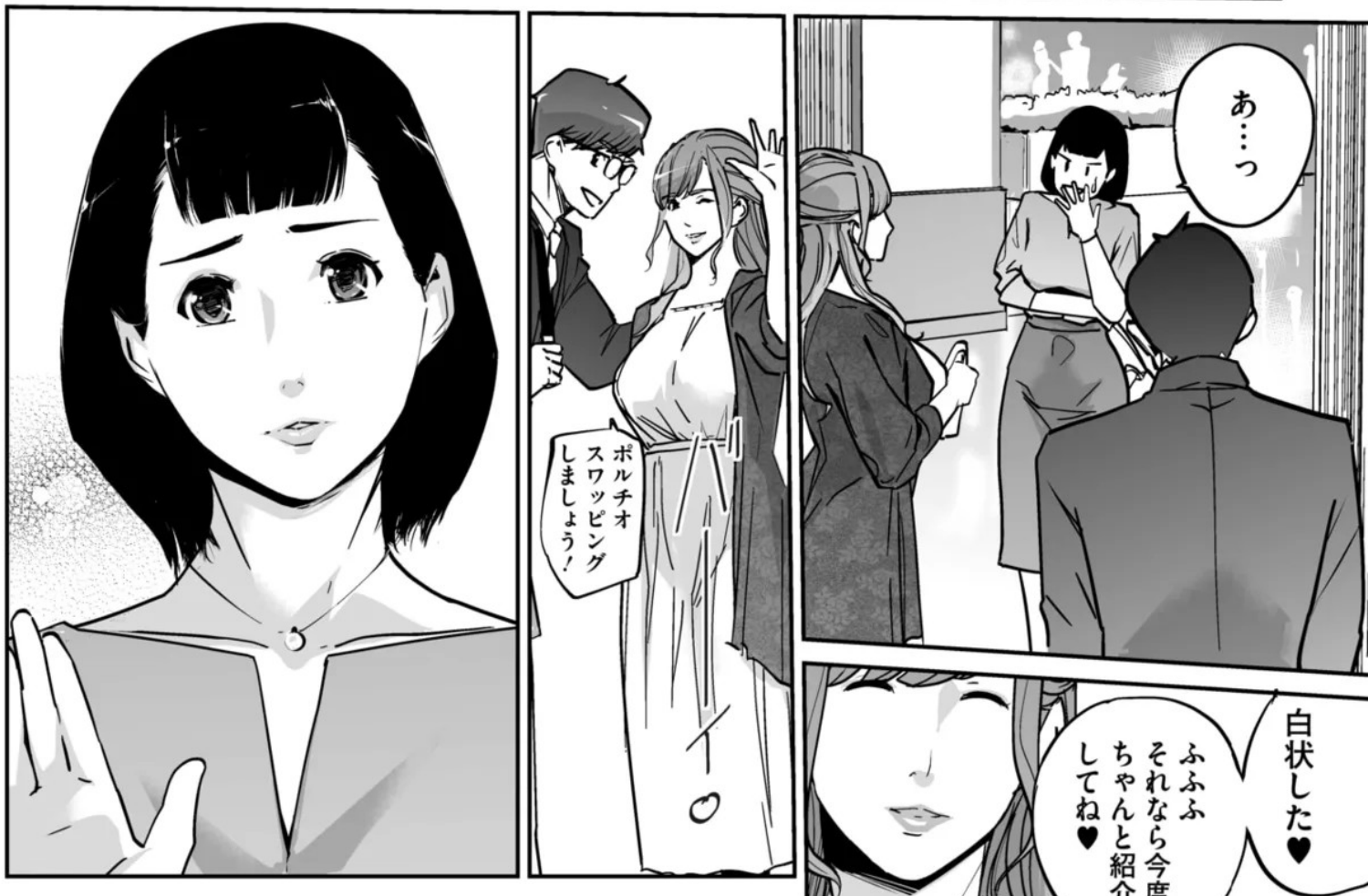

肛門がめくれちゃうううう……♥
お…おううん♥
あ♥
ん♥
あぁっ♥♥
ああいい…っ♥押し込んでええええ♥んひいいい♥
ああ…くる…子宮が揺れる…
はああ…悦史さん…悦史さ…♥今日凄いわ…ほおおおおん♥♥あ…あああだめえほおおおおん…っ♥
暴れだしたお義母さんの子宮…っ
いくわ…百子…見ててぇもう堪えきれない…っいくううういっくううう♥♥
いくいくいくいくうううう♥♥ひくうう……ひっくうう♥


ほおおおお……んっ♥
ああ…すっごい量♥
ああ…あああ…いい♥
ああ…ああ
き……気持ちいい♥♥
ん…ん♥


はあ…はああ
頂戴い♥
悦史の頂戴い♥♥
万由子に全部
あげるよ…っ
……
はああ嬉しい
ああ♥
ん…♥
お義母(かあ)さん…っ




本当は祐介さんて百子の体だけが目当てなんじゃないの
私を見て貴女(あなた)はそう言ったわ
そ……そんなことありません…っちゃんと愛されてます…っ


あ…っ
ポルチオスワッピングしましょう！
白状した♥
ふふふそれなら今度ちゃんと紹介してね♥


男性は必ず…
自分の子供を
産んでほしいと
思うものです
愛している女性には
ピンポーン
ギャ
お母さん…！
どしたの急に？
ちょっと…
近くまで来たもの
だから
お母さんきた
祐介ーっ
これから
ご飯だから
一緒に食べよー


ん……ん♥
……ん♥
百子さん
今日はどう
されましたか
週末に
会うって…
ねぇえ……


……欲しい
はずだって
その女性の……
友達がね…その
本当に愛している
のなら…
赤ちゃんが
僕の事
話したん
ですか
その…
へぇ…
百子さんの
ご学友らしい
ですね
悪友です


百子さんの体の事を考えて避妊は考えていますが
できれば僕は貴女に産んで欲しいです
…え
僕の子を産んで欲しい
若いからって見損なわないでください
当たり前じゃないですか
なんてことを…
とっても わたし嬉しい
…言うの
あ…ああ♥
ゆ……祐介…っ
あああ…♥


あ…ああ
出して…♥
ああ…いい…♥
全部……
射してぇ♥
百子に
射してえええ♥
は…孕むわよ
ほおおおおおん♥
うう…♥
わたし…
…本気よ


もう瞳が
上がって
きます
まって…
一分だけ
百子さん？


ママ 今日って泊まっていくでしょ？お風呂……
え…ううん今夜は帰るわ
邪魔したわね
あそうだママ
これ旅行のお土産…
バタン!!
……ママ
自分でも解るはしたない女だって
それでも昼間の万由子を見てからこらえがきかないんですもの


ポーン
ん？
百子から
LIUE…？
ちゃんと愛しあっていますから！
おあいにく様！
ふふ…
やるじゃない♥
真珠色の残像
to be continued
ドラマティック
ビデオ
写真
ポートレート
空間

clone人間（クローンニンゲン）
Presents







瞳娘夫婦の買い物に付き合わされて
複雑な想いの百子さん……。

# 真珠色の残像

## 第二幕 ～青い月夜の女～ 第3話

Check!!
著者掲載
バックナンバー
&単行本情報は
こちらから♥

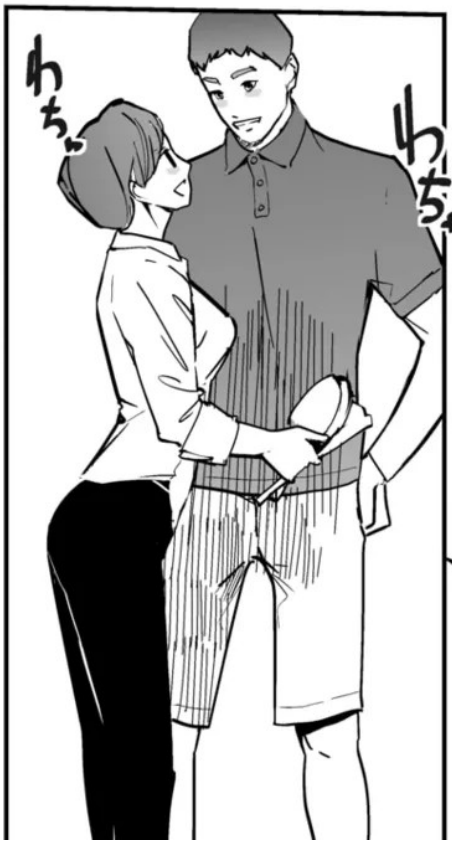
★良妻賢母であり、清純可憐な
義母・百子さんが淫らに開花した
MSC「真珠色の残像家族が寝静まった後で」
を要チェック!!


今日もすごく綺麗ですお義母さん
離れて……じっと見つめないで


いよいよ週末ですね
万由子さんどんな女性か楽しみです

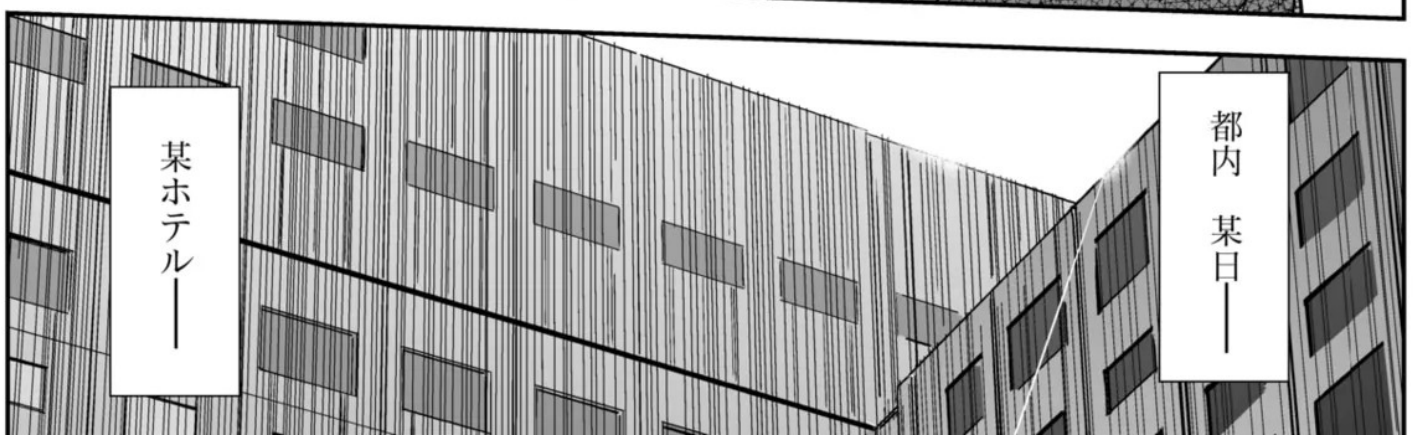


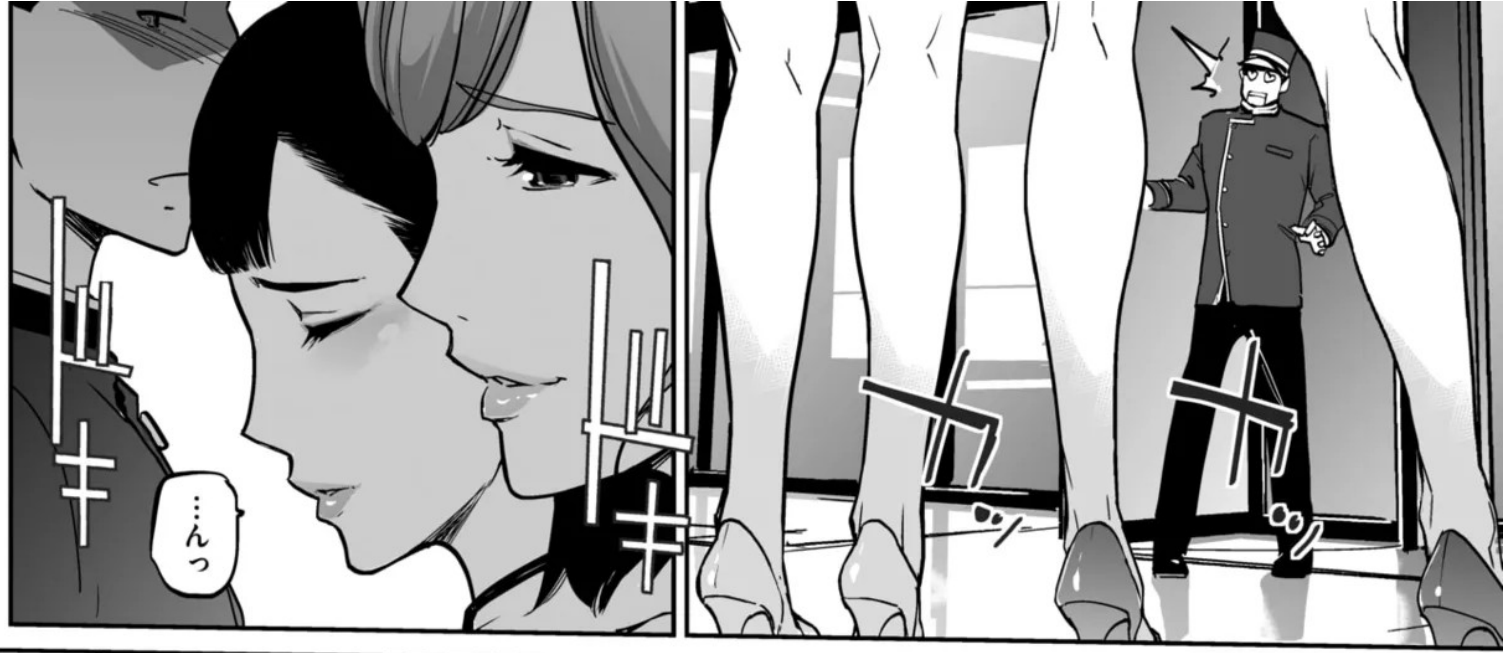

わたし…気が進まないわあまり親しくない方ですし…
少し苦手なタイプで…
くみ
悦史さんですね衣装が送られてきましたよ
そ……っ
ねえ祐介スリッパ選んで

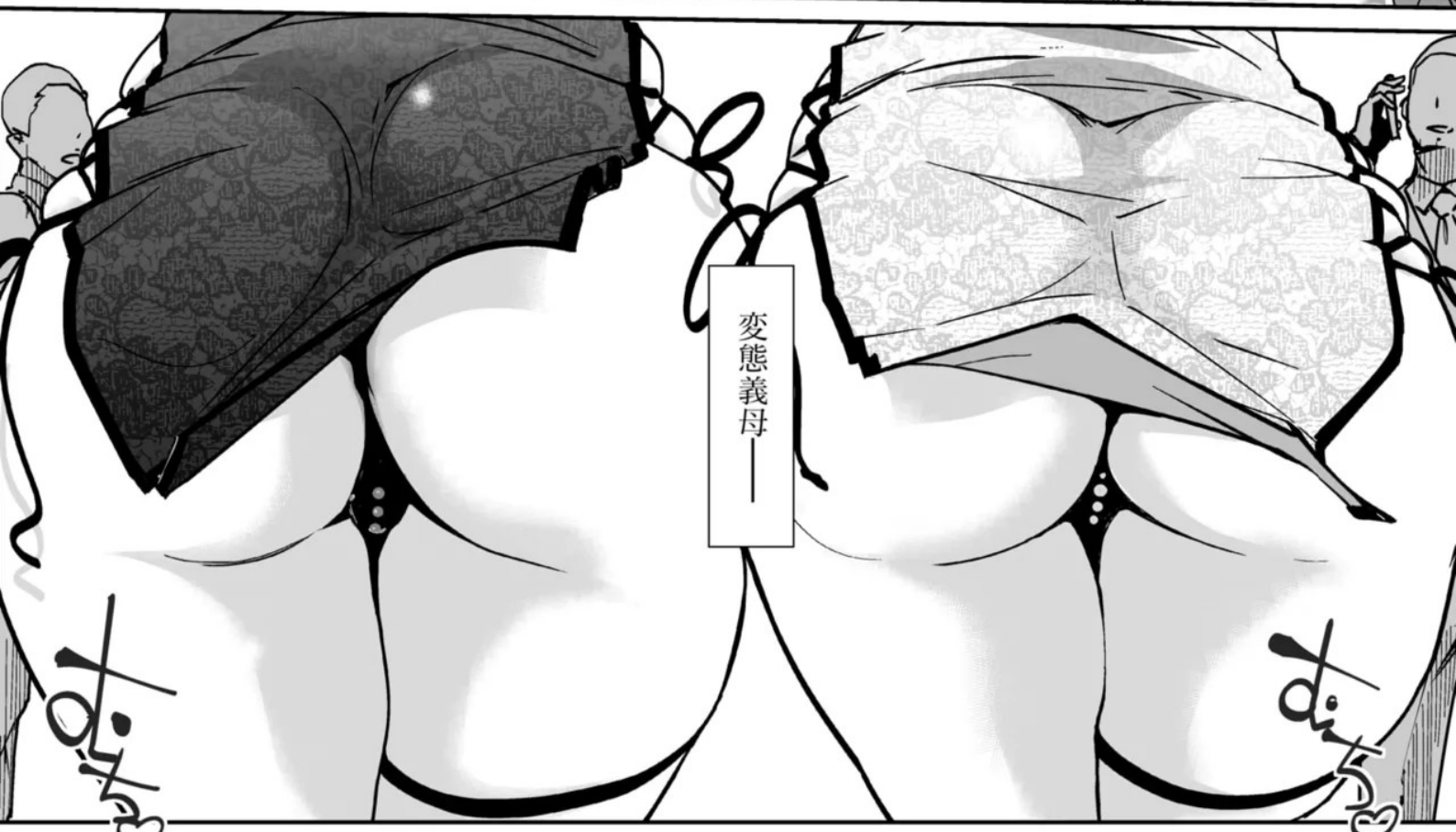

わちゃ
わちゃ


ぎゅっ


ちがう…
ううぅ…


都内　某日――
某ホテル――


…んっ


変態義母――


――変態義息子

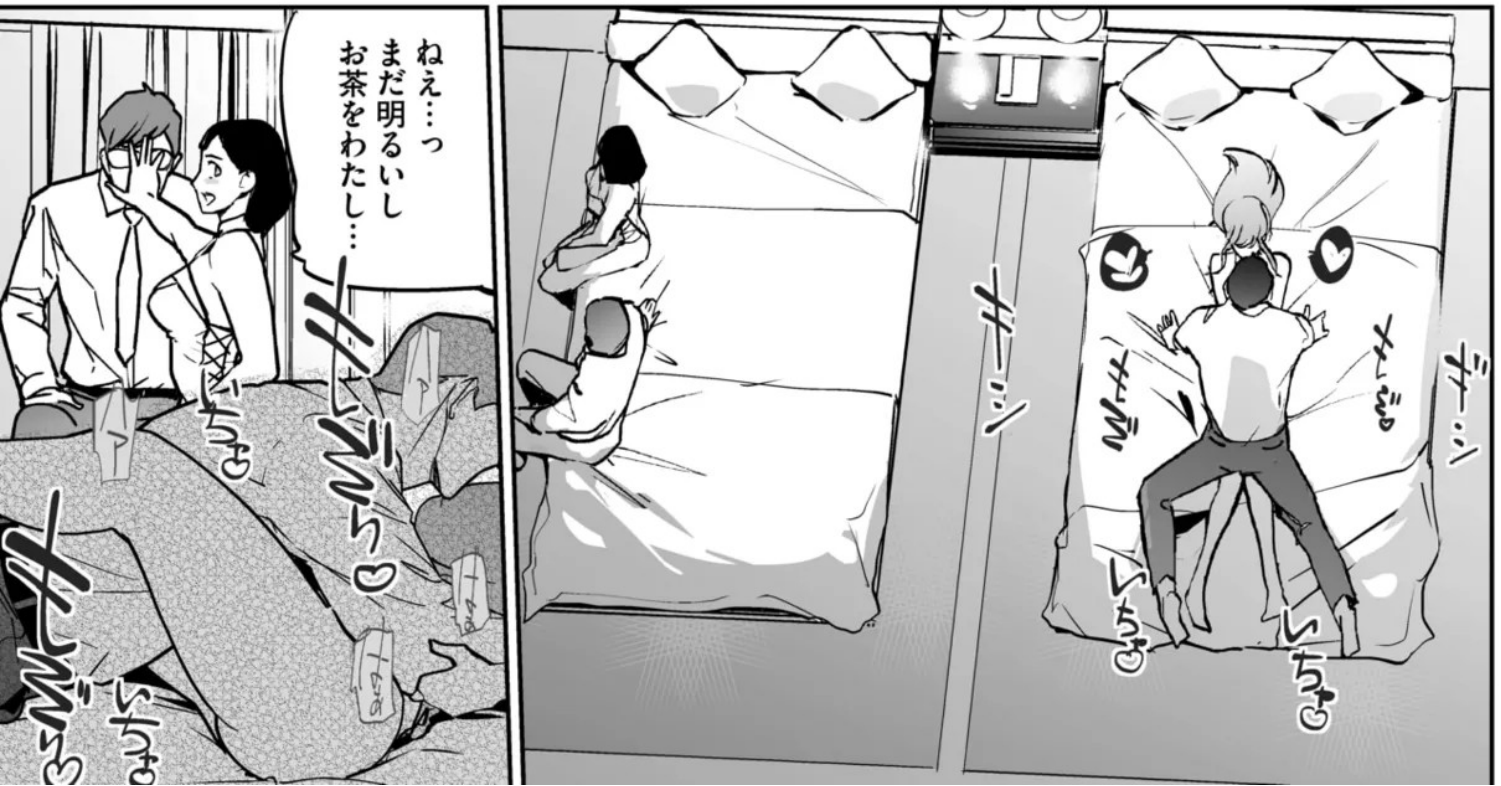

両家スワッピング当日――
……っ


祐介です
先日は義母がお世話になったそうで
あらためましてうちの義母百子です
悦史と申します
本日はお会いできて光栄です
うちの義母万由子です
や…わ…わたしはまだ納得した訳では…っ
初めまして祐介さん
万由子と申します♥
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ


はあ…いい♥
若い男の匂い♥
ちょっと
タイプ～♥
むかっ
たーべちゃお
おたしの
いちごに
このくらいで
怒らないでよ～
百子ぉ
友達じゃない～
嫌われる
わよ～


昔からそう
人のもの平気で…っ
きらいっ

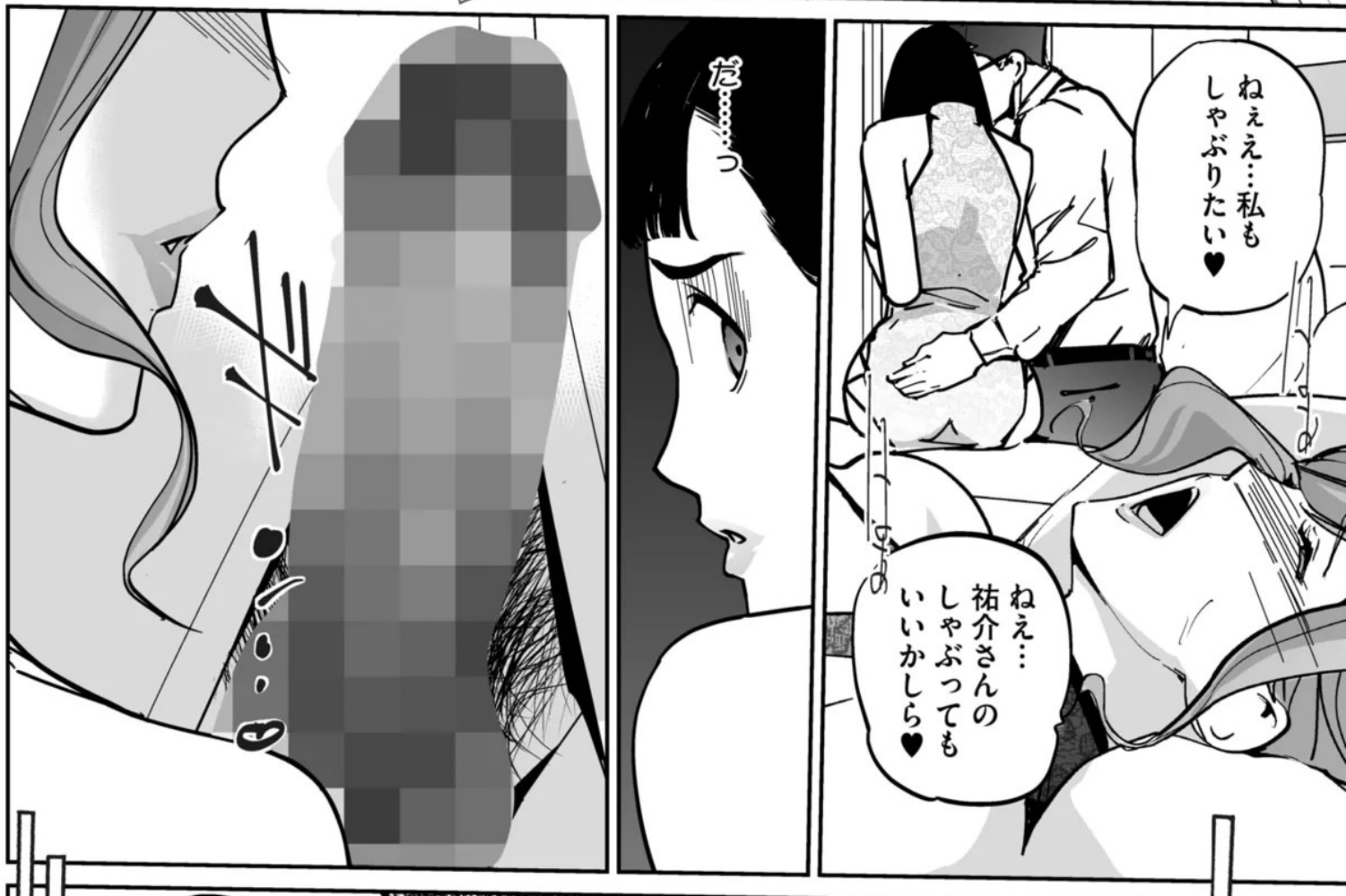
3180


ねえ…っ
まだ明るいし
お茶をわたし…
ナデナデ
いちゃ♡
ナデナデ
いちゃ♡
ナデナデ
いちゃ♡
ナデナデ
いちゃ♡

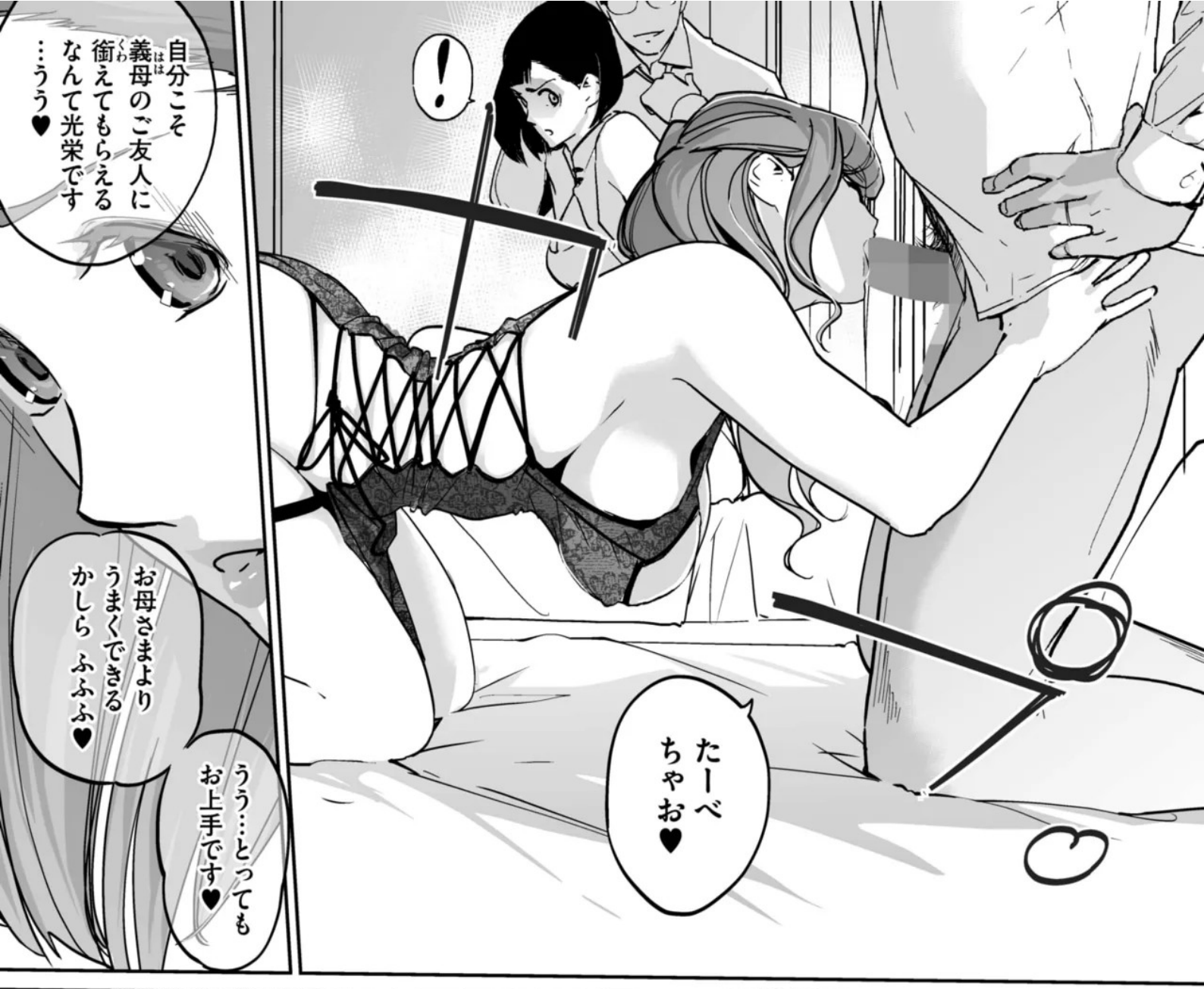

紅茶にする…？
それとも……
学園のマドンナだったとか万由子さん♥
そうよ…♥
ん…♥
聞いてるの…っ
万由子っ
祐介さんてばっ
祐介さんに全部見られちゃう♥
……やん♥
こんなに明るいところで…
あ…はあ♥
やばいわ…っ
ゾクゾクしちゃう♥
ご淑女のえっろいおま○こしていますね♥
あ…はあん♥


あ…はあん♥
マドンナのエキス
全部戴きます♥
あっはああ
舌を…♥
きゃ…だ…ん♥
祐介さんの
舌…這い回ってる♥
あ…いいっ♥
うそ…まだわたしは
納得していませんし…っ
行為には…
あ…はあ♥
はああ
いい♥
およびませんから…っ
クリ押し
つぶして♥
それ好き♥


は…ああ
あひ♥ああ…っ♥
祐介さん…いい♥
すっごく新鮮…っ
はあ…ああ
お…おま○こ
舌が入ってくる♥


ねぇえ…私も
しゃぶりたい♥
ねえ…
祐介さんの
しゃぶっても
いいかしら♥
だ……っ


百子の男
しゃぶれる
なんて…
最っ高
だわ……♥


！
たーべちゃお♥
ううっ…とってもお上手です♥
お母さまよりうまくできるかしら ふふふ♥
自分こそ義母のご友人に銜えてもらえるなんて光栄です…ううう♥


こんなに大きく固いもので今日は万由子におま○こして下さるのね♥
はあはあドキドキしてきちゃった♥
今日だけは万由子さんのものですから
僕も興奮してきました
万由子を想像して濡れてらっしゃるわ祐介さん嬉しい♥♥


祐…っ
駄目ですよ
僕達は
こっちです
や……まって
ちょ…っ
わたしは
まだ納得した訳では
ありませんから…っ
ん…や…百子は…
貴方(あなた)とはできません
悦史さん
お願い…聞いてっ
万由子は
昔から強引で…
やっぱい……♥


初めて会った時から
思っていたが
とんでもない美人さんだ
百子さんは
華奢なようで
90センチはある尻と
胸はそれ以上か
ん…やっ
少し汗ばんでいる
三人の行為に
反応しているのか
あまったるい
大人の息づかい♥
完璧だ
万由子と
祐介さんが——
スワッピング
ですよ百子さん
照れないで
や…やだ…っ
昨夜から勃起が
治まらないん
ですよ僕は
祐介さん以外の
なんて…
知りたくないです
とっても…熱い




# わたしはまだ納得していませんから




お尻がお好みと伺ってます♥
どちらからにしますか♥
や…だから触らないで
まって…っ
んひっ
貴方(あなた)のことまだよく存じませんし…
あ…あああう♥
あああっ
はああお……っきいい♥祐介さんの♥


祐介さんと…万由子が…っ
ああ♥
すっごい
気持ちいい♥
ビキ
万由子さんの中
奥まで
上品で最高です♥
ビキ
祐介さんのが
一番奥まで
届いちゃう♥
あぁ…
ああん♥
あむう♥
子宮が
動いちゃう…っ
あ…はう♥
祐介さん…


ああん…っ♥
ああ…好き
クリトリスむかれて
奥まで突かれて
腰ひきつっちゃう♥
い…言わなくて
いいから万由子っ
中まで完熟♥
万由子さんっ
義母(はは)より
肉付きが
まろやかです♥
あ…あんなに腰を
下から……
ああっ♥
あんっ嬉しい…♥
百子より気持ちいいって
言ってくれたわ♥
あ…ああう♥
私も気持ち
いい…っ♥


僕達も
楽しみましょう
あ…っ
今はだめ…♥
柔らかい
肛門ですね♥
んん…いや
広げないで…っ
お尻で…する気…っ
は……や
だめ…ん♥
見ないで…
ん…♥
知らない…っ
指の先まで
真っ赤になって
かっわいい人
は…舌を
ああだめ♥


んや…っ
緊張も身体のこわばりもゆっくり解(ほぐ)していきますからね♥
Fくらいかなたまらない乳輪♥
ん♥
乳首勃(た)ってきました
大きな乳輪も小さな肛門も♥
今日は全部僕のものですから♥
は……ああですから…っ
いやっそんな汚いところ…いや…っ
汚くないです最高の香り♥百子さんたまらない♥
は……♥あ…ああんっ
お尻をしちゃいや…あひいい♥


そのくせ
こんな小さな
穴で
祐介さんの
あの太いものを
銜え込むんでしょう
んん…♥
興奮しちゃ…いや…
人って見かけに
寄らない♥
あん……っ
また舌を…っ
万由子も
肛門ポルチオ
アクメの
虜なんですよ
ん…お尻に
入れちゃいや
はああん♥
肛門からだと
その背徳感から
ポルチオアクメの
深度が深まる
女性の肛門に
こんな使い方が
あったなんて
ご存知でしたか
ゆ…
祐介さんじゃなきゃ
嫌なのに……
祐介さんじゃ
ないのに……
わたしに
なぜそん話を…
あ…ん……っ♥
肛門半開きで
もの欲しそうに
涎垂らして
いるので♥


自分でもわかる…
いつもと違う わたしの身体
大分ほぐれてきました♥
で…ですから…まだよく存じ上げない方とは…ん
ほ♥
ほ…あぁ♥
あ……ひいっ
おねだりしてください
肛門にくださいって♥
……っできません…っ
この人わたしいや…
そうですか♥それならそれで
祐介さんと義母(はは)はまだ時間かかりそうですから
ん…んなあ…♥はああ…そんな指を…だめ♥
ああ…ひいっ
ん…は…はやく祐介さん…
早くすませてでないとわたし


気持ちいい…♥
ああねえぇ♥
祐介さんのおち○ぽでいってもいいかしら…っ
万由子さんっ
ここがいいんですね♥子宮口の上のくぼみ♥
あ……ああ…♥♥だめもう堪えきれないわぁ……いく♥
祐介さ…あああんあああん♥
あああっん…♥
あん♥


少し中に出たかもしれません
はあ…はあ素敵♥
ん…♥
ん…ん……♥少し……でてるわ♥おいし……♥
それはだめ…絶対あげないんだから…っ
え…や…っなにを!?
いやなの…
たまらない色してるから…っ
わたしこの男…きっと合わない生理的に
え…悦史さん終わりに…


ひ…っ
ちょ……んっ!?
あ…貴方(あなた)…っ
ちょ……い…入れちゃ
だめじゃないいい……っっ
そんな…
はあああ♥
あまりに
熟れた肉色なんで
たまらなくなって
しまいました♥♥
うほ…♥♥
奥まで
ぷりぷり
してる♥
うっほお…♥
百子さんの
お…おま○こ
かわいい♥♥
あ…入っちゃ
……あああう♥


ぞわぞわする……っ
百子さん…っ
奥が…ぞわぞわするの
これだめええ♥
あ…あああ♥
2度目ですね
お会いするの
知り合って
間もない
ましてや
いけ好かない男
なんて
身勝手な…っ
わたしは…
僕
大好きです
それなのに
こんな欲情おま○こで
僕を迎え入れて
くださるなんて…
どうなって
るんですか
貴女(あなた)の道徳感は♥
あ…はあぁんんっ♥
こういうの
最高です♥


うほ…締まる…♥
マジでかわいい♥
母親の濡れ方じゃないだろうこれ♥
自分でもわからない……
あ…無理…っ
きっと不意を……
悦史さんが不意を打つから子宮が驚いているだけ…
逃がさないですよ
付け根でクリトリスを押しつぶしながら
奥をずっと味わいます
最奥を雑に押し上げる
可愛い声です百子さん
や……やだ…っ
女子大生みたいだ♥
は……あ♥
そのまま……
ん…ふう♥
亀頭で子宮口の周りをなぞりあげる
ん…ん…ん♥


は…ああ♥
いい…♥
……きらい
こんなセックス…
貴方(あなた)のこと
きらいです…っ
はっああ♥
いや…まって…っ
あんっ♥あんっ♥
あひいいい♥
いくうう…♥
いく……
うわ締まり
だした…♥
百子さんのコンプラ
どうなってるん
ですか♥
くうふうううん♥
はあ…くやしい…っ
ああ…あああ♥
い……いくうう…♥
ひくっ
ひくっ
ひくっ
ん…ん…あ…♥
は…わたし…うそ
身体が今…
勝手に……っ
イッて…
ませんから
……ん♥


はあ…くやしい……♥
どうして…どうして…
嘘ついちゃ だめじゃ ないですか…♥
ん……ですから …だって……
とっても 気持ちがいい…♥
…ん♥ 嫌いです…大嫌い 貴方のこと…っ
百子さんっ
あ…っ♥
あ♥


は…ああ♥ だめ……ン♥
あ…あ♥ 許して……っ
ああ…また…♥
もう あげませんよ
ん…ン♥ んん…っ だ…ん…っちゃうわ……っ
こんな身勝手な 男のもので…わたし
ぽっ♥
え…悦史さ…♥
あっはあああいい…♥
…史さん…♥ 悦史さん…ん♥ ねえ えつしさぁん…っ♥


許して……♥
万由子とは全然違う…っ
血統の違う雌肉
別物だ……っ
あぁいい…っ♥
嘘を…百子の
嘘を許して…っ♥
女性の嘘は
大好きですよ
むしろ真実だから
おねだり
できますね
もっといい穴が
あるでしょう


若い男に
お尻を広げて
こんな屈辱的な
仕打ちなのに
昂る気持ちを
わたし どうにもできない
百子を…
かわいがって
ください…♥
悦史さんの
逞しい…お
……おち○ぽで…
も…百子は…
お尻で……
お尻の穴で…
感じる
はしたない
義母です

あ
ああああっ…ああだめ…無理っはいらな……あああああ♥
百子…っ
や…まって無理ですだ……あぁあああひいいい♥


百子さんが肛門を
全部
入りました♥
あ…ん♥
は…っ
や…ううん♥
馴染み始めました
百子さんの中…♥
ううう…ぬめる♥
奥まで灼(や)ける
ように熱い
百子さんの
ケツ穴っ♥
き…きて
悦史さん…♥
は……ああ…あ
鈍痛が……
…とってもいいわ


ひ…っひい…っだめ…お尻がやけちゃう♥
あはあ…♥悦史さんまって…♥
難なく根元まで入っていく♥
は…あ♥
や……っんんん…っっ♥♥
ほ…おおおおおお
祐介さんのお○ぽを思い出して肛門が動いていますよ
はしたない義母なんですね♥
い……いじわる言っちゃいや…♥


悦史さんのおち○ぽが
百子を
卑しくさせてるの♥
ああ…う♥
ほおん♥
ほおおん…っ♥
は…ああ
いいっ♥
んっんっ♥
ほおおん♥
はああ♥
すご……♥
僕のが
いいですかっ♥
はああ♥
奥に…
ぶつかってる♥
んひいい♥
ああ……うそ…わたし……
ゆ…ゆるして…
お尻でいって
しまい
そうです…♥
奥面もなく
肛門を突き出してる……♥


きゃ…や…
だめ…なにをっ
…!?
きゃう♥
ずん
こんな格好…っ
ん…♥
だめえ見えちゃう♥
百子さん
ほら 自分で
動いて♥
見せるんですよ♥
貴女(あなた)の
あられもない姿を…
義息子(かれし)に♥
あ…はああ…いい♥
これだめえ
気持ちよすぎるぅう♥
あ♥…ああ…っ♥
ぶつかるわぁ♥
はあぁぁあ…そこぉ♥


あんな――
初めて会った時から
可憐で愛嬌の中にも
清楚な佇まいのご婦人…
百子さんが
義息子さんの前で
排泄器官を
限界まで広げて
しゃぶりつく…♥
あぁ
お尻が…熱いの♥
ああ…すっごい♥
あぁんあぁあん
あんあん♥
いくって…
ちゃんと
言うんだ…っ
あぁだめ…っ
腰が動い
ちゃう…♥
さっきまでの
恥じらいは
どうしたんです
百子さん
義息子さんの前で
大股開きで
イクところ
見せてください
百子さん…っ
ああ中で暴れて大きく…っ♥
百子もいくわ……っ♥
ひ…ひい…ひいいいい♥♥
ひく…け……ケツ穴でひくわあああ♥

ああああひいいいいいい♥
ずぶっ
ずぶっ
ずぶっ
祐介さん…中で大きく…
百子……っ
百子を見て
目の色
変えて興奮してる
なにそれ…
私の中に
いるのに……
妬けるじゃない♥
ベッドを
つなげ
ましょうか
悦史さん
それ
名案です！


百子さん…っ
あひいいい♥
や…灼けちゃう
お尻灼け
ちゃう♥
万由子さん…っ
わたし達の肛門…
おち○ぽ漬けにしてください♥
あ…あは…いい♥
ケツ穴気持ちいいわぁ♥
お…おち○ぽ突き入れて♥
お…奥まで頂戴い♥
お義母達のケツ穴に
もっとねじ込んで♥
真珠色の残像
to be continued